

補助金の交付状況に係る調書【平成30年度交付分】

補助金の名称	未来の人材活躍補助金		市の担当部課	市民部地域安全課	
			問い合わせ先	0568-44-0346	
補助金の交付を受けた補助事業者の名称	犬山マルシェ実行委員会 はじめ2団体		代表者名	吉野 孝博 ほか	
関係規定	法令	—	条例	—	
	規則等	犬山市補助金等交付規則	要綱	未来の人材活躍補助金交付要綱	
補助事業者の選定方法 (公募又は特定団体)	公募により選定	補助開始年度	平成29年度	補助終了年度	未設定
特定団体への補助の理由 (公募で選定しない理由)	—				
市が補助金を交付する 公益上の必要性 (何をどうしたいのか)	未来を担う市民の特技や志向を活かした社会参画につながる事業に対して助成金を交付することで、まちづくりにおいて活躍する市民を育成し、魅力的な市民協働社会の実現に寄与することができる。				
補助金の額  ( )は一般財源の額	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度予算	
	—	250,000 円	100,000 円	500,000 円	
	—	(125,000 円)	(50,000 円)	(250,000 円)	
市の補助金を使って 実施した事業の内容	定住促進、地域資源の活用、観光振興、多世代交流などの事業				
補助金の使途	補助事業者の会計全体の決算額(支出)		—		
	うち補助事業全体の経費		462,760 円		
	うち補助対象経費		462,760 円		
	補助対象経費の内訳		報償費	197,605 円	
			使用料及び賃借料	37,870 円	
			需用費	135,019 円	
			役務費	44,981 円	
			寄附金	32,000 円	
備品購入費			15,285 円		
補助率、補助額		補助対象経費の10分の10に相当する額			
補助限度額		50,000円			
補助額の算出方法	精算の有無 (変更交付)	有	その理由	助成金を前払いし、事業完了後に精算するため	
補助金を交付して 市が得たメリット (何がどうなったのか)	魅力的な市民協働社会の実現に向けて、未来のまちづくりを担う人材が社会の中で活躍する事業の実施を経験することができ、社会参画のすそ野を広げることができた。				
その他参考事項	市が実施する創造的な語り場「フューチャーセッション@犬山」への参加を条件として、ここでの企画事業の実施に対する支援を想定。				
	補助事業者の会計全体の余剰額(繰越額)		—		
	うち補助事業全体の余剰額(繰越額)		—		
	補助事業者が補助金とは別に市から委託業務を請け負っているかの有無				—

※平成30年度の実績に基づき作成しています。